

科目名称	成人看護学実習	学年学期	単位数	時間数
		第3学年 全期	2	90
担当教員	上原 茂相	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

対象を統合的に理解し、対象とその家族の成長・発達を促し、発達課題を達成していけるよう、独自性を尊重した看護援助を実践するための知識・技術・態度を修得する。

対象の健康の保持・増進、疾病の再発予防、健康の回復、安寧な死など健康や障害の状態に応じて、対象が健康的な生活を営み、その人らしく生きることを支援するための知識・技術・態度を修得する。

看護過程の展開をすることで看護の実践を学び、自己の看護観を深める。

【2】学習目標

1. 対象の病態生理・症状、検査、治療について理解し、治療過程において対象に及ぼす影響について説明できる。
2. 対象の機能障害や治療（手術療法等）によっておこる生活への影響を考え、健康回復に必要な日常生活を整える看護を計画的に実施できる。
3. 保健・医療・福祉システムにおける看護師の役割と、他職種との連携・協働を理解できる。
4. 臨地実習を通して自己の看護観を深め、自己の課題を明らかにすることができる。
5. 看護者の倫理綱領および本校の倫理綱領に基づいた行動ができる。

【3】第2看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
実習前	・実習1か月前にオリエンテーション(透析室の現地オリエンテーションを含む)を受け、実習目的・目標を確認し、実習病棟の診療科の看護を含めた事前学習を整える。 ・成人看護学実習における自己の目標・課題を明確にする。	オリエンテーション
実習1週目	・初日に手術室・ICU・地域医療連携室のオリエンテーションを受ける。 ・実習2日目に病棟オリエンテーションを受け、受け持ち患者を決定し情報収集を始める。 ・担当患者の情報収集・アセスメントから看護計画案を立案する。	臨地実習
実習2週目	・受け持ち患者の看護計画に沿って実施・評価を行い、看護過程を展開する。 ・中間評価を行い、実習目標に到達する方法を教員と見直す。 ・症例カンファレンス・安全カンファレンスを行い、グループで共有しながら学ぶ。	
実習3週目	・受け持ち患者の看護過程の展開を継続する。 ・透析室実習にて、慢性期の対象の看護及び多職種との協働における看護師の役割の実践を考える。 ・成人看護学実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。	

【5】評価方法

- ・成人看護学実習の到達度基準に従い、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後までの学習状況から、学生・教員（臨地実習指導者所見含む）で評価を行い、60点以上を合格とする。

【6】教科書

- ・系統看護学講座 成人看護学 ①～⑭, 医学書院, 2017.
- ・系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論・各論, 医学書院, 2018.
- ・系統看護学講座 別巻 緩和ケア, 2018.
- ・系統看護学講座 別巻 がん看護, 2018.
- ・中西純子, 石川ふみよ 編:リハビリテーション看護論 第2版, ヌーヴェルヒロカワ, 2017.

【7】参考書

- ・野川道子 編著:看護実践に活かす中範囲理論 第2版, メヂカルフレンド社, 2017.
- ・瀬戸泰之 編:消化器外科ナースング 2015 年増刊号 消化器外科のドレーン看護, メディカ出版, 2015.
- ・医療情報科学研究所 編:病気がみえるシリーズ, メディックメディア, 2011.
- ・市川幾恵 監修:改訂版 意味づけ・経験知でわかる病態生理看護過程 第3版 上巻・下巻, 日総研, 2017.
- ・看護過程に沿った対症看護 第5版, 学研, 2018.
- ・山口瑞穂子, 関口恵子 監修:疾患別看護過程の展開 第5版, 学研, 2016.

【8】受講生へのメッセージ

.